

特集

煉瓦

東京駅開業100周年、富岡製糸場世界遺産認定など、煉瓦建造物が話題となる昨今である。

煉瓦は味のある色彩や、積み上げた際の模様から外壁材・造園材料として高い人気があるものの、耐震性の問題や鉄筋コンクリート造の普及とともに土木・建築材料の主役の座を奪われてしまった。

しかし、かつて煉瓦は近代化のシンボルであった。煉瓦を抜きにインフラの発展を語ることはできない。

インフラを支えてきた「煉瓦」にスポットを当て、現代の技術者によく知られていない、製造、施工技術を積み上げてきた歴史を振り返る。

さらに煉瓦建造物を後世に伝えるための保全・補強技術を取り上げながら、煉瓦の魅力を考えるとともに煉瓦復権の可能性を探る。

- ① 碓氷第三橋梁（群馬県安中市）／塚本敏行
- ② 浦賀ドック（神奈川県横須賀市）／有賀圭司
- ③ 琵琶湖疏水ねじりまんぼ（京都府京都市）／塚本敏行
- ④ 南禅寺水路閣（京都市左京区）／塚本敏行
- ⑤ ジェラール水屋敷地下貯水槽（神奈川県横浜市）／水野寿行

